

デザイン視点を加えた医療機器等開発支援事業

－県内医療現場ニーズの解決と県内医療機器等関連企業の育成に向けて－

Medical device development support project with a design perspective

- To solve local medical field needs and

develop local medical device manufacturers in Aomori-

宮下 育也、葛西 裕

青森県ではこれまで、県内企業が医療機器等産業分野へ新規参入を目指せるよう支援する施策が行われており、その中で、県が中心となり医療現場ニーズ勉強会等を通じてニーズを掘り起こし蓄積している。

本事業は、「全国一の短命県返上」のため、県内の医療現場ニーズと県内企業の技術シーズを結び付け、医療機器等の開発を支援することで、医療現場ニーズを解決するとともに、県内における医療機器等関連企業を育成することを目的として製品開発支援を実施するものである。

また、製品開発に当たっては、ニーズを的確に捉え、ビジネスとして成立する製品を生み出すため、デザイン視点を加えながら以下の手順により実施するものである。

- ① これまで蓄積されている県内の医療現場ニーズの中から、県内企業の機械、電気、電子的な技術シーズで解決可能なものを選定
- ② ニーズ提供元の協力を得、医療現場ニーズを丁寧に聞き取り、デザインマネジメント手法を活用して開発計画を作成
- ③ 試作と現場評価を繰り返し、しっかりとニーズにマッチさせ、県内企業とともに製品化を推進

令和元年度では、県内企業の技術シーズにより解決可能な医療現場ニーズとして、リハビリテーション現場に係るニーズを選定し、1次試作と現場評価を行った。

なお、デザインマネジメント手法としては、小規模開発体制でも運用可能であり、デザイナーの思考と手法によりユーザのニーズを分析、再構築することで商品価値を磨いていく「3×4デザインマネジメント」を活用した(図1)。

具体的にはリハビリ向けデバイス(図2)を試作し現場評価を行った。結果は概ね良好であったが、操作方法等について分かりやすくしてほしいとの要望があった。

今後、県内のパートナー企業を募り製品化を進めることとしている。

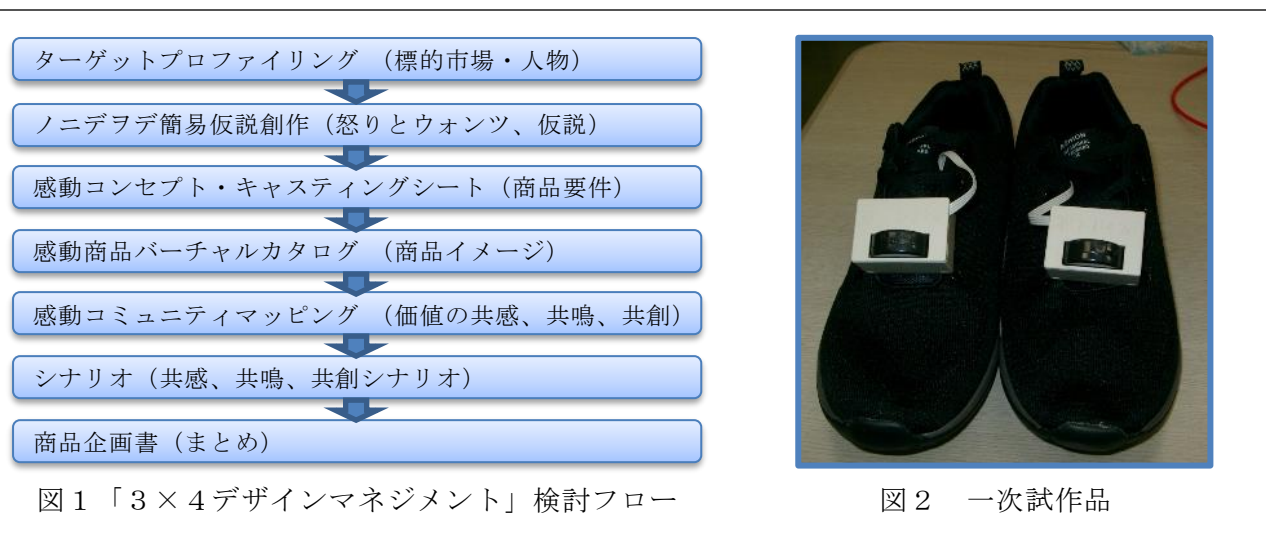


図1 「3×4デザインマネジメント」検討フロー

図2 一次試作品